

50. 土壌消毒と施肥畦立の同時作業による立枯病の効率的な防除方法

福島県たばこ試験場・平成11年度試験成績概要

- 1 部門名 特用作物－タバコ－病虫害防除・雑草防除・作業技術 分類コード 06－01－23202900
2 担当者 野田正浩
3 要 旨

タバコ栽培に大きな被害をもたらす立枯病を、土壌消毒により効率的に防除する方法を検討した。処理時期は、平成10年11月12日(秋処理)と平成11年4月16日(春処理)とし、いずれの時期も処理直後に畦立被覆を行った。薬剤は、カーバム剤(NCS)とダゾメット剤(バスアミド微粒剤)を供試した。移植日は5月14日とした。

(1)立枯病は、薬剤処理により発病が抑えられ、防除率は、秋処理で46.9～84.5%、春処理で38.0～98.0%となった。

(2)疫病は、無処理区において6月下旬から発病が見られたが、薬剤処理区では全く認められなかった。

(3)畦内の雑草発生は、秋処理、春処理ともに薬剤処理区の発生本数及び乾燥重量が少なかった。

(4)春にダゾメット剤を処理した区では、薬害が激しく認められ欠株が生じた。

(5)以上の結果、薬剤処理直後に畦立被覆する方法により、立枯病及び疫病の発生が抑えられ、畦内の雑草発生量も少なかった。ダゾメット剤は、春に使用すると薬害が発生するので春処理には適さなかった。秋処理直後畦立被覆の体系は、春の農繁期の作業分散にもなり有効な方法であると考えられた。